

キックオフ・シンポジウム
新しい人文学の地平を求めて
ーヨーロッパの学知と東アジアの人文学ー

2014 年12月6日(土) 14:00-18:00

会場 早稲田大学 小野記念講堂(27号館 B2階)

プログラム

14:00-14:10	開会の辞	李 成市（早稲田大学教授）
14:10-14:25	趣旨説明	甚野尚志（早稲田大学教授）
14:25-15:05	報告 1	安酸敏真（北海学園大学教授） 「現在（いま）、あらためて《人文学》を問う」
休憩		
15:15-15:55	報告 2	逸見龍生（新潟大学准教授） 「哲学者（フィロゾフ）と人文主義者（ユマニスト） ーフランス 18 世紀『百科全書』における 〈ヒストリア〉の概念」
15:55-16:35	報告 3	武藤秀太郎（新潟大学准教授） 「日中両国における人文学の概念形成ー 「整理国故」と「封建」を中心に」
休憩		
16:45-17:00	コメント 1	河野貴美子（早稲田大学教授）
17:00-17:15	コメント 2	根占献一（学習院女子大学教授）
17:15-18:00	質疑応答	

趣旨概要

現在、近代の日本と東アジア世界で通用してきた人文学に対しては、その方法や枠組みに関して様々な批判がなされており、新たな人文学の組み直しが求められている。本シンポジウムでは、ヨーロッパ文明において人文学がどのように形成されたのか、またそれが、日本と東アジアの近代的人文学の形成にいかなる影響を与えたのかを問いながら、今後の新しい人文学のあり方を展望したい。

